



第4回 ジュニアユースウェイブ選手権

日程：2020年12月26日

場所：御前崎ロングビーチ

写真：里村 哲也

12月26日、早朝より素晴らしいコンディションに恵まれ、予定された全てのヒートを無事に1日で完遂することができた。

最年少参加者は小学3年生。

大人でも手こずる御前崎の海を、参加した全ての子供たちが果敢にチャレンジし、沖に出ていく姿には感動しかない。

今年もまた、各クラスで沢山のドラマが生まれた。

そして、ジュニアユースとは言え、U-21クラス参加者には日本のプロ選手も含まれ、非常にはハイレベルにも驚かされた。

<チャレンジジュニアクラス>

朝のコンディションは予想より少し波が高く、大人の腰～腹ほどの大きさ。

御前崎ではマイルドと言えるコンディションだが、子供たちにとっては身の丈ほどの大きさになる。

参加者は全て小学生のこのクラス、御前崎での大会には初参加の子供たちも多く、運営サイドもハラハラするスタートとなった。

しかし、全ての子供たちが波に揉まれながらも果敢に挑み、結果参加選手の全員が沖合に出ることに成功する快挙を見せてくれた。

3位に入賞した秋田選手は小学3年生の女の子。

小さな体で押し寄せる波をくぐり抜けて沖に出ていく姿にはビーチから喝さいが上がっていた。

優勝は決勝でも安定の走りを見せた山田選手となった。



1位 山田 美結 選手



2位 森田 選手

3位 秋田 選手

<チャレンジユースクラス>

中学生以上のウェイブ・ビギナーがチャレンジするこのクラス、ビギナーとは言えジャンプや波乗りにトライする子供たちも見られ、安定感のある走りを参加者全員が見せてくれた。特に佐伯選手はジャンプ、波乗り共に高得点を獲得し、圧倒的な存在感で優勝。

2位・3位は御前崎出身の小野選手、増田選手となった。

入賞者が全て女子というこのクラス。

今後もウェイブシーンを華やかにしてくれるに違いない。



1位 佐伯 選手



2位 小野 選手

3位 増田 選手

<小学生クラス>

小学生クラスはフリースタイルでも活躍中の逗子チームが躍動。

優勝の杉選手はヒート中にフォワードループをほぼメイク！！

回転の具合から見ても、完全にコントロールされた良いループであることは間違いない。

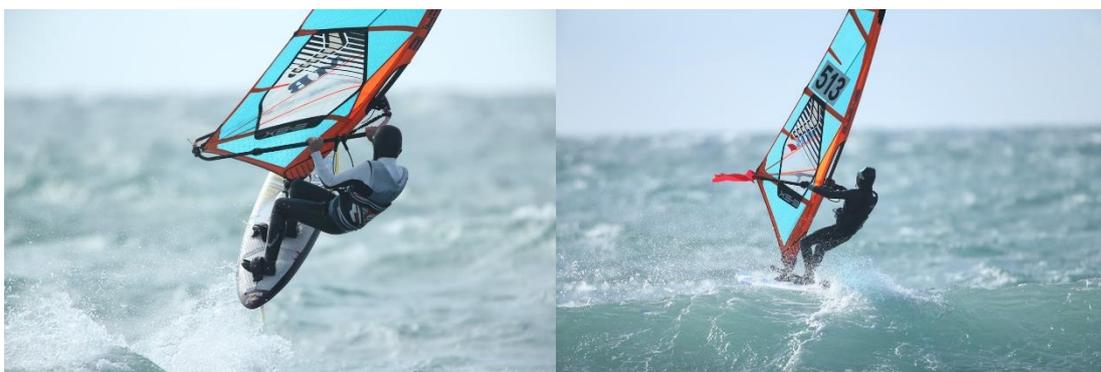
そしてセットをしっかり選び、大きい波を攻めるライディングはジャッジからも喝さい。

2位の小西選手は、今シーズンなかなかウェイブの練習ができない状況の中でも、しっかり自分に出来ることをヒート中に表現。

今後が非常に楽しみな小学生たちでした。



1位 杉 選手



2位 小西 選手

3位 若狭 選手

<中学生クラス>

今シーズン、けた違いにレベルアップした野口選手は、高いフォワードループと波をしっかりと使い切るキレのあるウェイブライディングで次々と高得点を連発。

安定感のある試合運びでこのクラスを制した。

2位の守屋選手は中学生プロとしてフリースタイルで活躍中だが、ウェイブも本格的に上手いのには驚かされた。

波の中でトリッキーな技を織り交ぜながら、コンディションを楽しむ姿が印象的。

今後はウェイブの方にも是非力を入れてほしい選手の1人だ。

3位の柘崎選手も体格に恵まれ、今後の成長が楽しみな選手である。



1位 野口 選手



2位 守屋 選手

3位 柘崎 選手

<高校生クラス>

優勝の松井選手は生粋の地元ウェイバーで、実はウェイブではこれが初の優勝との事。ヒート中にはバックループにもトライし、ほぼメイクというパフォーマンスでギャリーを沸かせてくれた。丁寧なウェイブライディングにも定評があり、ジャンプ系の技が増えればプロクラスでも活躍できるポテンシャルのある選手だ。

2位の高梨選手はとにかくボトムターンのスピードが素晴らしい。今後リップアクションにターンが繋がってくれば、非常に良いウェイブライディングが見られることだろう。

橋本選手も守屋選手同様にフリースタイルで活躍中だが、大会前日にマスターしたというフォワードループを何度も繰り出し、3位を獲得。



1位 松井 選手



2位 高梨 選手

3位 橋本 選手

<U-21 クラス>

毎年非常にレベルが高い 21 歳以下クラス。

今年の勝者は中学 3 年生の石井選手。

ヒート中に、バックループ・プレーニングフォワード・プッシュループとプロ上位レベルのジャンプとスタイリッシュなウェイブライディングで全てのヒートを圧勝。

2位の野口選手は中学 1 年生で既にこのトップターンのキレを披露。

ナイフでバターを抉るようなリップアクションは、大きなポテンシャルを感じる。

3位の橋本選手は、ウェイブコンディションで練習を積み、更なる飛躍を期待できるだろう。



1位 石井 選手



2位 野口 選手

3位 橋本 選手

当日は御前崎にしてはマイルドなコンディションとはいえ、ジュニアの大会を行うには特にレスキュー体制を海上・陸上の両サイドで準備万端にしなくてはならない。

参加する子供たちが安心・安全に大会に挑める環境を整えることができる御前崎の海とスタッフ、関係者にこの場を借りて感謝を述べたい。

ご協力ありがとうございました。

子供たちの未来、ウインドサーフィンの未来のために、今後も長くこの大会を続けていきたい。

ジュニアユースウェイブ選手権

実行委員長 石井 久孝



御前崎スマイルプロジェクト率いる海上の安全を守るレスキューチーム



トッププロ選手やベテラン・イントラによる陸上サポート

